

回復期リハビリテーション病棟入院料〔1〕に係る掲示事項

当院の回復期リハビリテーション病棟の実績は以下の通りです。

【退棟患者の回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳】

算出期間（3か月ごとに更新）	2026年4月	2026年5月	2026年6月
退棟患者数	30名	24名	32名
上記の内回復期リハビリテーションを要する状態の患者数	29名	23名	31名

患者の構成		2026年4月	2026年5月	2026年6月
1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後 若しくは手術後の状態 又は 義肢装着訓練を要する状態	12名	11名	14名
2	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節 若しくは膝関節の骨折 又は2肢以上の多発骨折の発症後 又は手術後の状態	10名	10名	11名
3	外科手術 又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後 又は発症後の状態	5名	2名	5名
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋 又は靱帯損傷後の状態	1名	0名	1名
5	股関節又は膝関節の置換術後	1名	0名	0名
6	急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0名	0名	0名

【リハビリテーション実績指数】

実績指数とはリハビリの効果を測る指標の一つです。入院料の基準ごとに定められた実績指数を満たすことで「効果に係る相当程度の実績が認められる」と判断されます。

数値は、退院した患者さんについて、入院時と比べてどのくらい回復したかを点数化し、それに要した入院期間を所定の計算式に当てはめて算出されます。

* 算出期間【 6か月間 2026年1月～2026年6月 】

1	前月までの6か月間に回復期リハビリテーション病棟を退棟した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数	160名
2	上記のうち、実績指数の計算対象とした患者数	123名
3	上記の患者の退棟時のFIM得点（運動項目）から入棟時のFIM得点（運動項目）を控除したものの総和 ①	2835点
4	上記の各患者の入棟から退棟までの日数を、当該患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものの総和 ②	55.0

厚生労働省が示す基準	42.0
当院の実績指数（①／②）	51.5